



# 小田急線 上部利用 通信

No.11

平成27年8月  
発行:世田谷区拠点まちづくり担当部拠点まちづくり第一課

世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)連続立体交差事業および複々線化事業による鉄道地下化に伴い生じる線路跡地の利用(以下、「上部利用」という)について検討を進めています。

この『小田急線上部利用通信』は上部利用に関する情報を広く皆様にお知らせする通信です。

代々木上原駅

東北沢駅

下北沢駅

【お問い合わせ先】

世田谷区

拠点まちづくり担当部拠点まちづくり第一課

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

電話:03-5432-2624 FAX:03-5432-3107

ホームページアドレス(<http://www.city.setagaya.lg.jp/>)

梅ヶ丘駅 世田谷代田駅

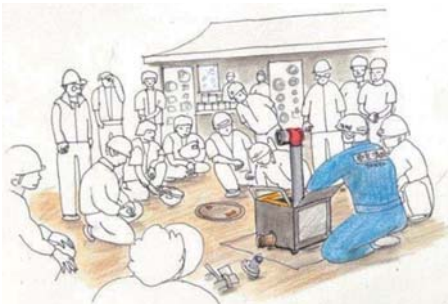


## 世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画を策定しました

世田谷区では、平成26年12月に世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画(素案)をまとめ、区民の皆さまからいただいた多数のご意見などを活用し、公共施設部分を整備していくための基本的な計画として、「世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画」を策定しました。

平成26年度に、区民の皆さまから、上部利用通信No.10でのハガキ意見募集、オープンハウスでのアンケート、第2回北沢デザイン会議のアンケートなど、多数のご意見をいただきました。(区民の皆さまのご意見は [2](#) ページへ)

今後は、上部利用計画を基に、連続立体交差事業等の進捗を踏まえながら、公共施設を整備していきます。



災害時の防災広場



潤いを与える施設

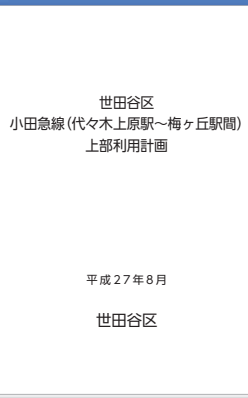
### 今後の予定

- ▶ オープンハウスを開催します!! [3](#) ページへ
- ▶ ワークショップを開催します!!

世田谷区上部利用計画は、区のホームページから閲覧できます。

世田谷区小田急線上部利用計画

検索



## 世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画(素案)に対する主な区民意見

意見募集方法	意見募集期間	意見提出数	合計
小田急線上部利用通信No.10(ハガキ)	平成27年1月15日～3月15日	65通	153通
上部利用等オープンハウス(アンケート)	平成27年2月7日～9日	50通	
第2回北沢デザイン会議(アンケート)	平成27年2月28日	38通	

### 主な意見および区の見解は下表のとおり(ホームページ掲載資料一部抜粋)

対象	主な意見(集約版)	区の見解	
計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来るだけ早期完成を望む。</li> <li>上部は緑化を含め区の文化施設を望む。</li> <li>保育園をつくってください。</li> <li>街の雰囲気となるべく残すような整備を望む。</li> <li>安心、安全を第一に考えた街づくりをしてください。</li> <li>防犯カメラの設置を望む。</li> <li>人のふれあいの場をたくさん取入れた、すばらしい町を望む。</li> <li>駐輪場が少ない。</li> </ul>	防災、みどりの基軸づくりをコンセプトに、上部利用計画(素案)に位置付けをしている、通路、緑地・小広場等を整備していきます。また、連続立体交差事業等の進捗を鑑みながら、公共施設を整備していきます。	
立体緑地	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難路も少ないので、犯罪が心配。</li> <li>転落等の危険性がある。</li> <li>下に向かって物を投げた人がいれば危険だ。</li> <li>万一地震で倒壊した場合、人が通れなくなる。</li> <li>下が暗くなり浮浪者や犯罪の可能性がでる。</li> </ul>	安全性や周辺環境への配慮、今後のコスト等、様々な視点を踏まえ立体緑地の検討をしてみたい。いただいたご意見は、今後の立体緑地計画の検討の参考にさせていただきます。
	区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>A区間とB区間で十分だ。</li> <li>B区間はいらぬ。空が見える公園でよい。</li> </ul>	
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>保守、維持に費用がかかる。</li> <li>小田急の土地あるいは近隣の土地を買い緑地を造って欲しい。</li> <li>維持管理費用が、将来、無駄な費用として発生するのが懸念される。</li> <li>工事費をにらみながら検討して欲しい。</li> </ul>	
プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺住宅への配慮が重要だ。</li> <li>植栽、フェンス等で目隠しをして欲しい。</li> <li>高いと見下ろされる。</li> <li>フェンスはくもりガラスの様な視界を遮るものを望む。</li> </ul>		
区民参加等	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンに区民やこの街に来訪するみなさんの意見を聞いて欲しい。</li> <li>区民と協働しながら、作り上げて欲しい。</li> <li>若い方々の参加をどうかして増やせないか、また障害者、外国人、来訪者等幅広い方々の意向を汲みとることができると、よりよい計画になるような気がします。</li> <li>ワークショップメンバーに区職員、担当者チームも編成し、参画して欲しい。</li> </ul>	今後も区民参加(ワークショップ等)で区施設整備の検討を行いながら、より良い空間の創出を目指します。いただいたご意見は、今後の区民参加手法等の参考にさせていただきます。	

世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)上部利用計画(素案)に対する主な区民意見は、区のホームページから閲覧できます。

世田谷区 上部利用計画(素案) ご意見のまとめ

検索

# 世田谷区小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間) 上部利用計画等についてオープンハウスを開催します

## 目的

世田谷区小田急線上部利用計画や周辺の街づくりなどを広く皆さまへ情報発信をするため、オープンハウスを開催します。

## 日時

平成27年9月11日(金)～15日(火)

**平日** 午後1時～7時

**土日** 午前10時～午後4時

## 内容

- ▶ 公共利用する施設に関するパネル展示(通路、緑地・小広場、駅前広場、立体緑地、防災施設)
- ▶ 立体緑地の模型展示等
- ▶ 上部利用関連情報(周辺街づくり等)

## 会場案内

場所：北沢タウンホール12階会議室  
(下図、会場案内図参照ください)

所在：北沢2-8-18

交通：小田急線・京王井の頭線  
下北沢駅南口 徒歩5分

## 会場案内図



※車でのご来場はご遠慮ください。

# 下北沢駅西側エリア緑地・通路検討ワークショップを開催します

## 目的

下北沢駅西側に区が整備する立体緑地や緑地・小広場、通路について、地域の皆さまと情報を共有し、意見やアイデアを出し合いながら整備イメージをつくり出していくため、検討ワークショップを開催します。

## 日程

平成27年10月17日(土)

平成27年11月28日(土)

平成28年2月6日(土)

## 時間

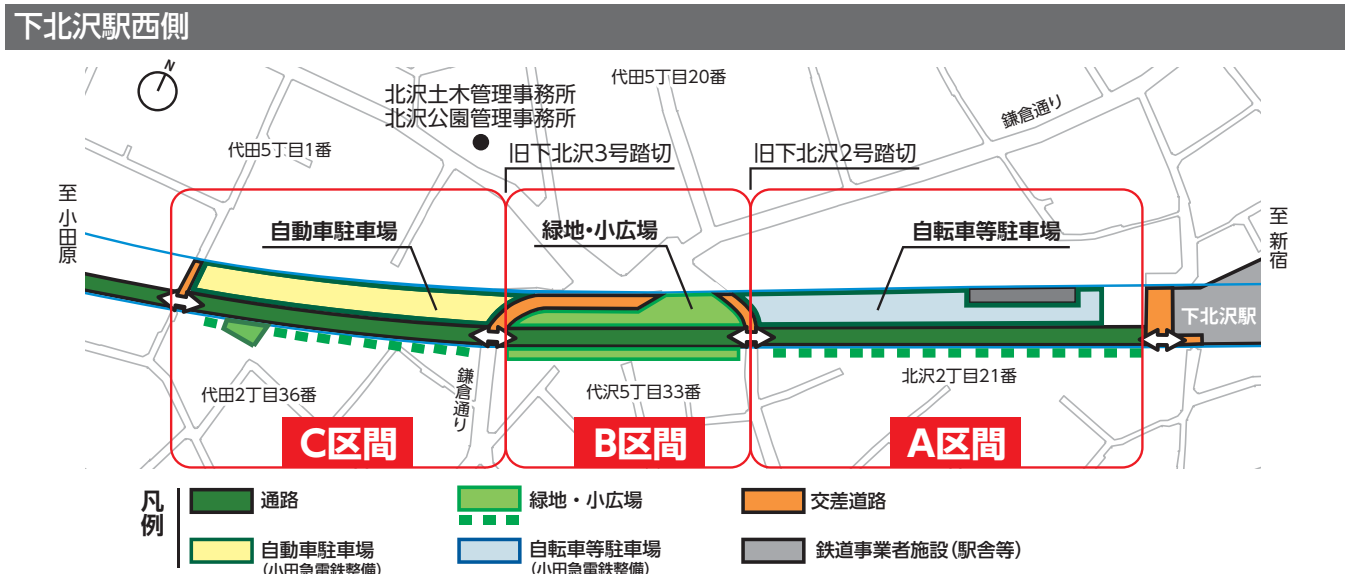
いずれも  
午後2時～4時30分

## 会場

北沢タウンホール11階  
らぶらす研修室

## 申し込み方法

せたがやコール  
電話 5432-3333  
9月25日までにお電話  
でお申し込みください。



# 上部利用(区施設)整備に向けての区民参加等について

区が整備する施設については、区民の皆さまに愛され、いつまでも大切にご利用頂ける施設となるよう、今後も様々な場面で区民参加に取り組み、整備していきます。

## ①北沢デザイン会議

小田急線沿線の街の未来を考え、イメージを共有するために、広域的な街づくりの情報発信や情報交換の場としていきます。



第2回北沢デザイン会議

## ②各施設の整備に関するワークショップ

駅前広場や緑地・小広場など、区の施設の整備や管理について、区民参加で意見を出し合い、親しまれる公共空間を創出していきます。

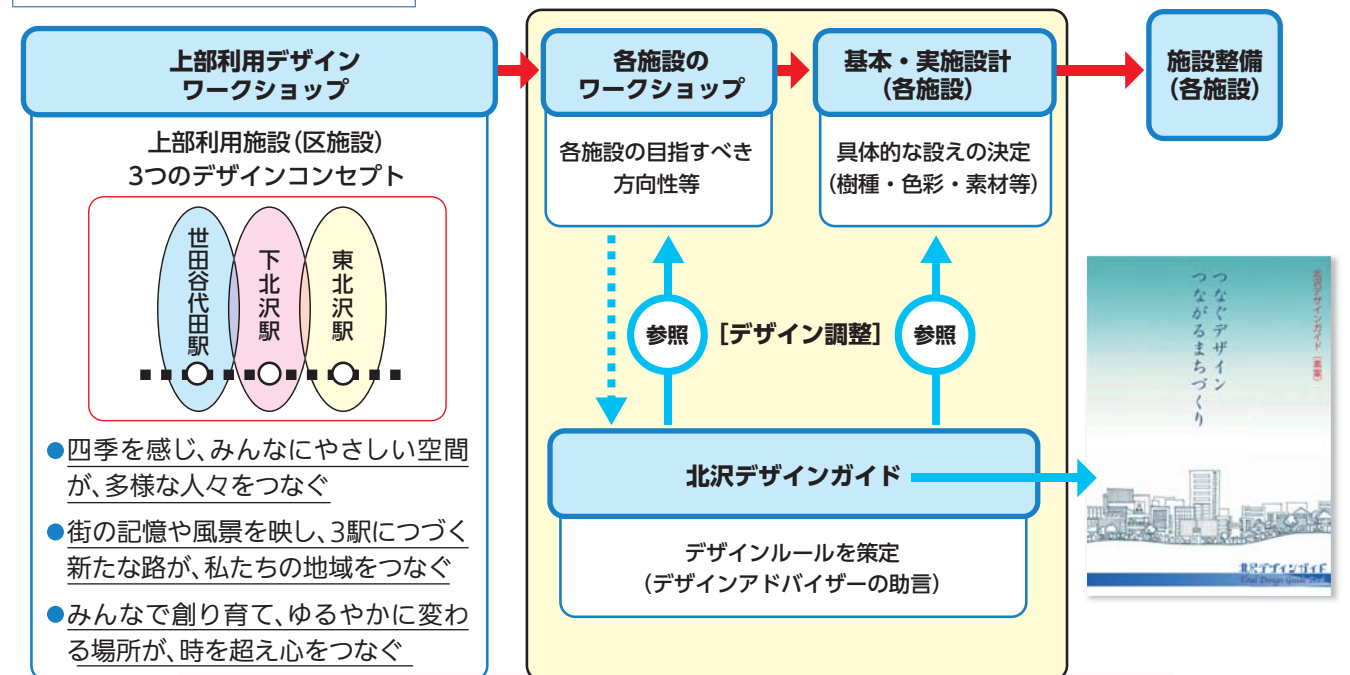


広場整備ワークショップ

## ③周辺街づくりとの連携

平成26年度に区民参加でまとめあげた、「上部利用デザインコンセプト」を踏まえ、上部利用施設(区施設)全体のデザインに関する指針(北沢デザインガイド)を策定します。3駅周辺の街づくりと連携し、調和のとれた都市空間の創出を目指します。

## 整備の進め方フロー図



情報発信・共有

北沢デザイン会議

# 世田谷区上部利用計画(素案)からの修正ポイント

## スケジュール 4 5 ページへ

- 補助54号線・世区街10号線の事業期間を平成33年度まで延伸しました。
- 下北沢駅周辺都市計画道路(補助54号線及び世区街10号線)の整備、利活用や運営に向けたワークショップを開催しています。



都市計画道路ワークショップ

ワークショップの情報は、区のホームページから閲覧できます。

## 立体緑地 6 7 ページへ

- 立体緑地の整備区域(A～B区間一部)を確定しました。以前にご紹介した区間(B区間一部、C区間)については、構想範囲と位置づけました。



小田急線上部利用通信No.10抜粋

## デザインコンセプト 8 ページへ

- 平成26年度に区民参加でまとめあげた、「上部利用デザインコンセプト」を追記しました。



デザインワークショップ

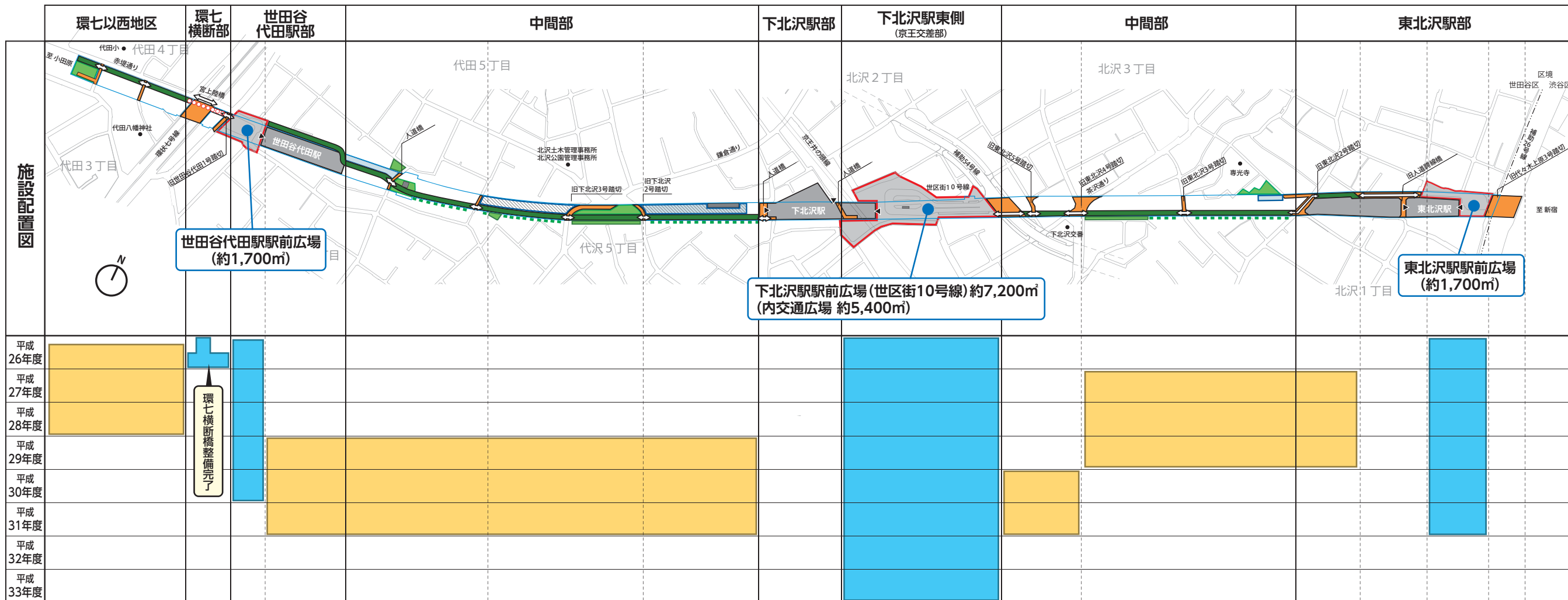
# 上部利用施設配置図及び施設整備スケジュールについて

### 施設配置図凡例

- ↔ 交差道路等通行の安全性の確保
- 鉄道事業者施設(駅舎等)
- ▶ 改札口
- 交差道路
- 環七横断橋(世田谷区整備)
- 駅前広場(世田谷区整備)
- 通路(世田谷区整備)
- 緑地・小広場(世田谷区整備)
- 立体緑地(世田谷区整備)
- ※自転車等駐車場(小田急電鉄整備)

施設の種類	面積(m <sup>2</sup> )
駅前広場	約10,600
通路	約4,000
緑地・小広場	約2,900
立体緑地	約1,750

- 面積の数量については、今後実施する協議、測量等により変動します。
- 立体緑地の面積は、整備区域面積(約800m<sup>2</sup>)と構想範囲面積(約950m<sup>2</sup>)の合計です。



スケジュール凡例 | ■ 通路、緑地・小広場、立体緑地 | ■ 駅前広場・環七横断橋

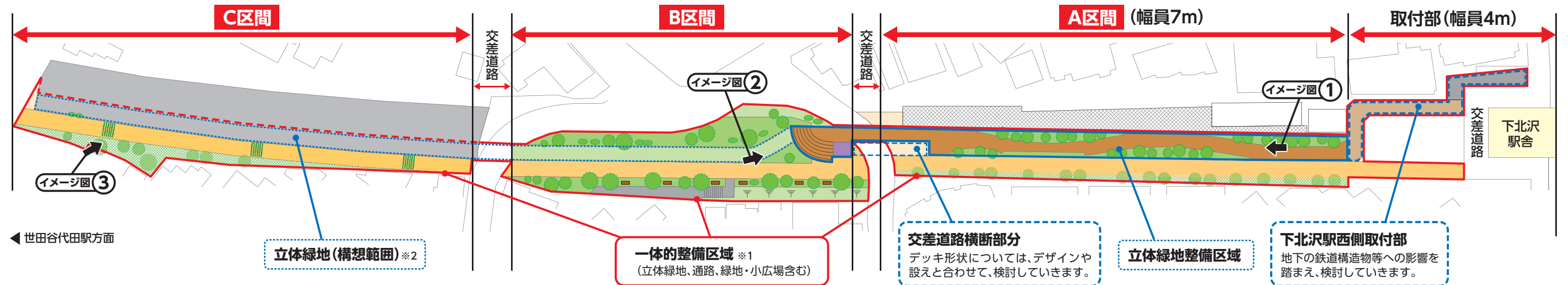
- 上記スケジュールは、区間毎に策定する、施設整備計画に定める事業期間(予定)を示しています。
- 事業期間内には設計等と施工に要する期間を含みます。

### 区施設概算工事費

上部利用(延長約1.7km)における区施設整備に要する概算工事費は、3駅の駅前広場(約5億円)、通路(約2億円)、緑地・小広場(約2億円)、立体緑地【整備区域】(約5億円)、環七横断橋(約4億円)(竣工済)を予定しております。

下北沢駅西側において、南北の高低差や自転車等駐車場の上部空間を活かしデッキを整備することで、回遊性や歩行者の安全性の向上を図り、新たなまちの魅力を創出します。整備に当たっては、A区間からB区間の緑地・小広場までデッキを設置する形状とし、今後、皆さまと意見を交わしながら、A～C区間全体で地上面の通路や緑地等と一体となった、より魅力的な立体緑地となるよう、デザインや使い方を考えていきます。

## 立体緑地 平面イメージ図



矢印 ← はイメージ図の視点方向

### ※2 立体緑地(構想範囲)

C区間は、主に、駅利用者や来街者のために小田急電鉄が駐車場を整備する区間です。

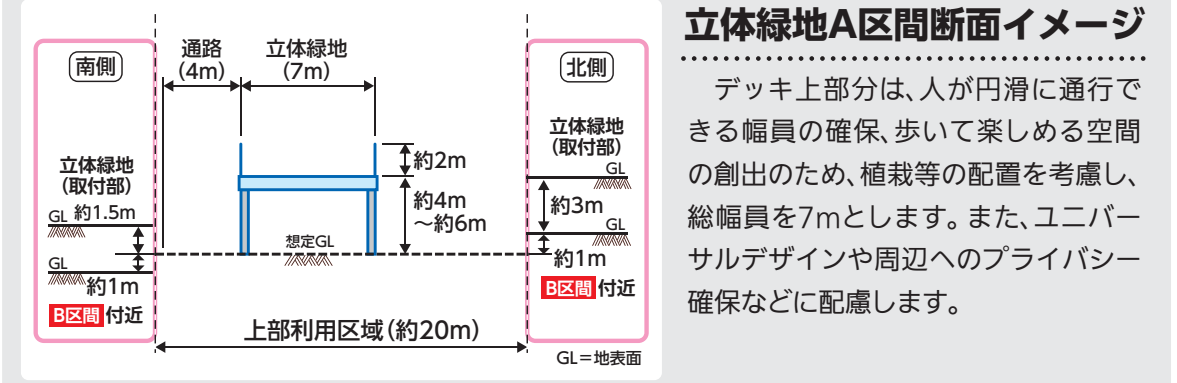
将来、街の発展に併せ、様々な利用(新たな土地利用等)を受け入れられるような伸びしろを想定し、必要な時にはデッキをさらに延ばしていくことを可能とする範囲と、位置付けます。

### ※1 一体的整備区域

下北沢駅西側から延びる緑化したデッキと、地上部の通路や緑地・小広場を一体的に整備する区域です。

例えば、デッキからB区間の緑地へテラス状の階段を配置し、トレリス(イメージ図③参照)等によるC区間の積極的な緑化などを施し、機能的、景観的にも調和のとれた魅力ある空間となるように整備していきます。

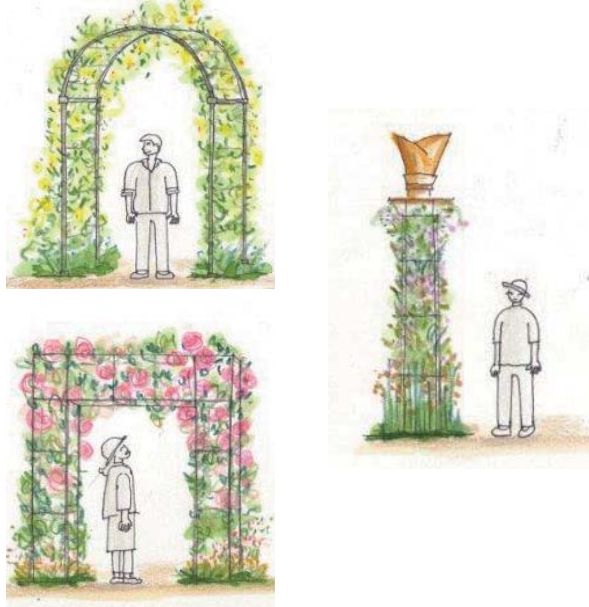
今後、ワークショップ等の場を設け、デザインや設え、管理運営など、区民の皆さまとともに考えていきます。



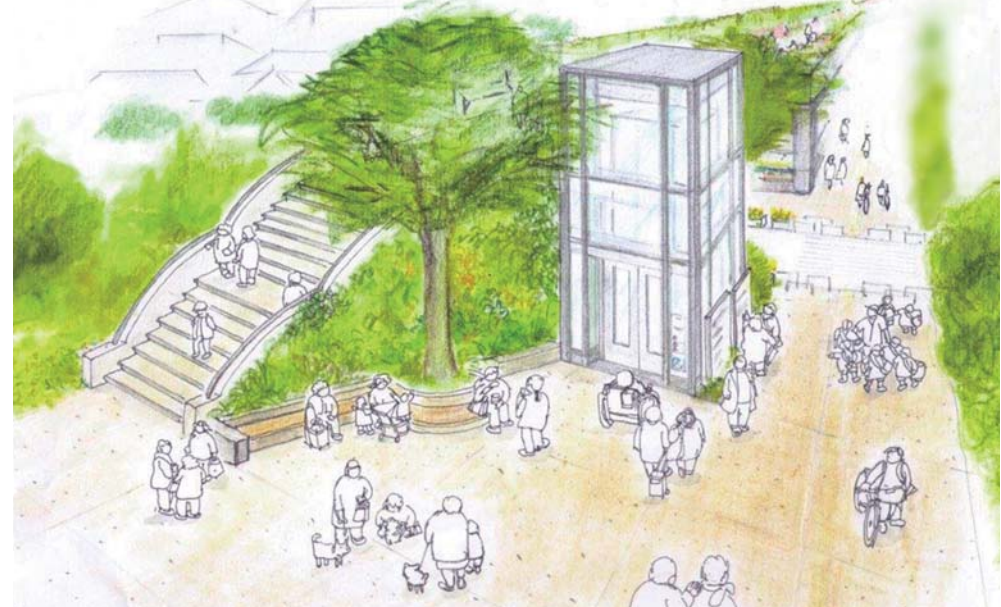
### 立体緑地A区間断面イメージ

デッキ上部分は、人が円滑に通行できる幅員の確保、歩いて楽しめる空間の創出のため、植栽等の配置を考慮し、総幅員を7mとします。また、ユニバーサルデザインや周辺へのプライバシー確保などに配慮します。

### イメージ図③ トレリス



### イメージ図② B区間 階段部分



### イメージ図① A区間 デッキ上部分



※図はあくまで、イメージです。